

お鋤山 植物たより (H27. 11. 17)

お鋤山も遊歩道沿いに点在するヤマハゼなどの紅葉が目立ち始めました。大木のコナラなどの黄葉も見事です。(H26.11.15 掲載) 遊歩道からちょっとはずれますが、北や南の谷筋にはシュロが繁茂しています。谷筋を歩くと一瞬映画で見るジャングルの中にいるような気分になります。赤い実のナンテン



↑ヤツデ ↑ナンテン シュロ↑

や白い花のヤツデに緑色の葉をもつシュロとで見事なコントラストになっている所もあります。いずれも暖地用の植物が観賞用に植栽され、野生化したようです。特にお鋤山ではシュロはいたるところで見られます、全国的な現象でもあり、ノラジュロと俗称されているようです。



ヤツデ



庭園樹としてのヤツデもお鋤山では南の谷筋だけでなく、遊歩道沿いにも見る事ができます。(H26.1.5 掲載) 葉に特徴

があり、手のひらのように7~9深裂しているのを八つ手とみてヤツデと名付けたようです。球状に白い花を多数つけます。1月にも咲いています。この時期、花をつける樹木は少なく、目立ちます。

根性大根などといって、スキマ植物が持てはやされています。そういう書名の本まで出版されています。植物にとって居心地の良い場所の一つがスキマだそう

です。お鋤山の市道沿いを散歩していたら、まさにスキマ植物を見つけました。擁壁にアメリカヌホオズキが小さな白色の



アメリカヌホオズキ



花を咲かせていました。球形の黒い果実もつけています。擁壁にぶら下がっているエビヅルやノブドウは、根は天端にあり、擁壁にぶら下がっていたのですが(H27.7.16 掲載)、アメリカヌホオズキは擁壁の中ほどに自生しているのですから、間違いなくスキマ植物といえるでしょう。